

セルトラリン錠 25mg 「サンド」
セルトラリン錠 50mg 「サンド」
セルトラリン錠 100mg 「サンド」

【この薬は？】

販売名	セルトラリン錠 25mg 「サンド」 Sertraline Tablets 25mg[SANDOZ]	セルトラリン錠 50mg 「サンド」 Sertraline Tablets 50mg[SANDOZ]	セルトラリン錠 100mg 「サンド」 Sertraline Tablets 100mg[SANDOZ]
一般名	塩酸セルトラリン Sertraline hydrochloride		
含有量 (1 錠中)	塩酸セルトラリン 28.0mg (セルトラリンとして 25mg)	塩酸セルトラリン 56.0mg (セルトラリンとして 50mg)	塩酸セルトラリン 112.0mg (セルトラリンとして 100mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、SSRI（選択的セロトニン再取り込み阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。

- ・この薬は、飲みはじめは、すぐに効果はあらわれませんが、飲み続けると、脳内に作用し、脳内の神経伝達をスムーズにし、抑うつ気分や不安を和らげます。
- ・次の病気の人に処方されます。

うつ病・うつ状態、パニック障害、外傷後ストレス障害

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を減らしたりすると、些細なことでも心配になる、いらいら、あせりなどの症状があらわれることがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にセルトラリン錠「サンド」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・MAO阻害剤を使用している、あるいは使用を中止してから14日間以内の人
- ・ピモジドを使用している人

○次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝臓に障害のある人
- ・そううつ病の人
- ・死にたいと強く思ったり考えたことがある人
- ・脳に器質的な障害がある人、または統合失調症になることが考えられる人
- ・衝動的な行動を起こしやすい病気を合併している人
- ・てんかん等のけいれん性疾患のある人または過去にこれらの疾患と診断されたことがある人
- ・QT延長のある人または過去にQT延長と診断されたことがある人、QT延長を起こすことが知られている薬を使用している人、著しい徐脈や低カリウム血症などのある人
- ・出血の危険性を高める薬剤を使用している人
- ・出血しやすい人
- ・緑内障の人または過去に緑内障と診断されたことがある人
- ・高齢の人
- ・小児

○この薬には併用してはいけない薬[MAO阻害剤（塩酸セレギリン（エフピー））、ピモジド（オーラップ）]や併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○24歳以下で抗うつ剤を使用した場合、死んでしまいたいという気持ち強めるといふ報告があります。24歳以下でこの薬を使う人は医師と十分に相談してください。

○6～17歳の大うつ病性障害、外傷後ストレス障害のある人がこの薬を飲んだ場合、有効性が確認できなかったという報告があります。18歳未満の大うつ病性障害、外傷後ストレス障害のある人は、医師と十分に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

セルトラリン錠25mg「サンド」、セルトラリン錠50mg「サンド」またはセルトラリン錠100mg「サンド」を組み合わせで飲むことがあります。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	セルトラリン錠 25mg「サンド」	セルトラリン錠 50mg「サンド」	セルトラリン錠 100mg「サンド」
1 回量	25mg から開始し、その後必要に応じて、100mg を超えない範囲で増減されます。		
飲む回数	1 日 1 回		

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、できるだけ早く 1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

誤って多く飲んだ場合、ぼんやりする、吐き気、嘔吐、胸がドキドキする、手足のふるえ、不安、いらいら感、興奮、めまいなどの症状があらわれる可能性があります。これらの症状があらわれた場合は、すぐに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・うつ病やうつ状態の人は死んでしまいたいと感じることがあります。この薬を飲んでいる間、特に飲みはじめや飲む量を変更した時に、不安感が強くなり死にたいと思うなど症状が悪くなることがあるので、このような症状があらわれた場合は、医師に相談してください。
- ・不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、発作的にパニック状態になる、眠れない、ちょっとした刺激で気持ちや体の変調を来す、敵意を持つ、攻撃的になる、衝動的に行動する、じっとしていることができない、などの症状があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、医師に相談してください。この薬との関連性は明らかではありませんが、これらの症状があらわれた人の中には、うつ症状などのもともとある病気の症状が悪化する場合や、死んでしまいたいと感じたり、他人に対して危害を加えたりする場合があります。

- ・ご家族の方は、死にたいという気持ちになる、興奮しやすい、攻撃的になる、ちょっとした刺激で気持ちの変調を来すなどの患者さんの行動の変化やうつ症状などのもととある病気が悪化する危険性について医師から十分に理解できるまで説明を受け、患者さんの状態の変化について観察し、変化がみられた場合には、医師に連絡してください。また、患者さんご自身も病状に変化があったと感じた場合には、ご家族の方にも伝えるようにしてください。
- ・眠気、めまいなどの症状があらわれることがあるため、自動車の運転などの危険を伴う機械を操作する時は、十分に注意してください。
- ・この薬は、使用を中止した場合に、不安になる、いらいらする、あせる、興奮しやすい、めまい、感覚の異常、頭痛、吐き気などの症状があらわれることがあるので、医師の指示どおりに使用してください。
- ・この薬を使用していたお母さんから生まれた赤ちゃんに、薬が体から排泄される過程で起こる症状（ぐったりしている、手足をブルブルふるったりする、けいれんなど）があらわれたとの報告や肺高血圧症（皮膚や粘膜が青紫色になる、呼吸困難など）の危険性が増えるという報告があるので、妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・アルコール飲料、セイヨウオトギリソウを含有する食品はこの薬に影響しますので、控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
セロトニン症候群 セロトニンしょうこうぐん	さむけ、汗をかく、発熱、手のふるえ、興奮、不安
悪性症候群 あくせいしょうこうぐん	38℃以上の発熱、ふるえ、意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、飲み込みにくい、筋肉のこわばり
痙攣 けいれん	けいれん
昏睡 こんすい	意識がなくなる

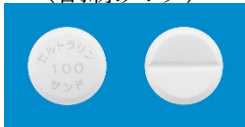
重大な副作用	主な自覚症状
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿が黄色い
抗利尿ホルモン不適合分泌症候群（SIADH） こうりにようホルモンふてきごうぶんびつしょうこうぐん（エスアイエイディーエイチ）	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振
中毒性表皮壊死融解症（Toxic Epidermal Necrolysis：TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（トキシック エピダーマル ネクロライシス：テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん）	からだがだるい、高熱、発熱、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
アナフィラキシー アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
QT 延長 キューティーえんちよう	症状がない（心電図の波形の異常）
心室頻拍（torsades de pointes を含む） しんしつひんぱく（ドルサード ポアントを含む）	動悸（どうき）、脈が速くなる、意識がなくなる、胸の痛み、胸部異和感、気を失う

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	さむけ、汗をかく、発熱、38℃以上の発熱、ふるえ、けいれん、からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、高熱、ふらつき
頭部	意識がうすれる、考えがまとまらない、判断力が低下する、意識がなくなる、意識の低下、頭痛
顔面	ほてり

眼	白目が黄色くなる、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、眼と口唇のまわりのはれ
口や喉	飲み込みにくい、吐き気、嘔吐（おうと）、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、しゃがれ声、眼と口唇のまわりのはれ
胸部	吐き気、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、胸の痛み、胸部異和感
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手のふるえ、関節の痛み、脈が速くなる
皮膚	かゆみ、皮膚が黄色くなる、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、じんましん
筋肉	筋肉のこわばり
尿	尿の色が濃くなる
その他	興奮、不安、陰部の痛み、判断力の低下、気を失う

【この薬の形は？】

販売名	セルトラリン錠 25mg 「サンド」	セルトラリン錠 50mg 「サンド」	セルトラリン錠 100mg 「サンド」
PTPシート			
形状	長円形の錠剤 	円形の錠剤 (割線入り) 	円形の錠剤 (割線入り) 
径	長径 8.4mm 短径 4.1mm	7.1mm	9.6mm
厚さ	2.7mm	3.7mm	4.2mm
重さ	77.2mg	154mg	306mg
色	白色	白色	白色

【この薬に含まれているのは？】

販売名	セルトラリン錠 25mg「サンド」	セルトラリン錠 50mg 「サンド」	セルトラリン錠 100mg 「サンド」
有効成分	塩酸セルトラリン		
添加物	結晶セルロース、リン酸水素カルシウム水和物、デンプングリコール酸ナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、マクロゴール 6000、酸化チタン		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社 サンド株式会社 (<http://www.sandoz.jp/>)

カスタマーケアグループ 0120-982-001

受付時間 9:00～17:00（土、日、祝日、当社休日を除く）